

## ヴァンサン・ピラミッド (Vicent Pyramide 4215m)

2013年8月14日

オールマウンテンクラブ

8月13日モンテローザに登るため予定通りアラニーヤに向かった。アラニーヤは13年振りの訪問である。前回シャモニから電車とバスを乗り継いで訪れたときは夕刻のためか閑散としていたが、今回はフェスティバルが開催されており随分賑やかであった。駐車場も満杯。

アラニーヤにホテルは1軒しかない。スキー場が営業する冬が本格的なシーズン。シャレーはたくさんあるが夏の営業はやっていない。前回訪問したとき、まともなキャンプ用具を持っていなかったためホテルの空きがないと聞いたときは途方に暮れてしまった。たまたま親切な現地のイタリア人にパストレー小屋を紹介してもらい22時に何とか到着してベッドにありつけたときはほっとしたことを鮮明に覚えている。小屋の下まで車で送って貰ったが高度差200mの登りが随分辛かった。

パストレー小屋は温水シャワーもありロッジ風の素晴らしい小屋であるので、今回もモンテローザからの下山中に1泊する予定であった。しかし、天候の関係でモンテローザの頃なピークであるヴァンサン・ピラミッド (Vicent Pyramide 4215m) を日帰り登山する計画に変更した。本来は来年の計画のためにモンテローザ最高峰のデュフルシュピッツ (Dufourspitze 4634m) までの縦走コースの偵察にマルゲリータ小屋まで上がる予定であった。

キャンプ場の私たちのテントの隣に5本指の靴下が干されているテントがあった。さてこれは?・・・しばらくして登山姿で戻ってきた東洋人に声を掛けた。やはり日本人であった。今回、アルプスに来て出会った2人目の日本人であった。シャモニで会った日本人はスネルスポーツで見かけた1人のみ、多くの東洋人に出会ったがほとんど中国人観光客であった。

彼の話では一昨日の11日(日曜日)にミラノから入る予定が間違っ隣谷のスタッフアルに行ってしまう、昨日そこからロープウェイを乗り継いでアラニーヤにやって来たとのことである。今日はヴァンサン・ピラミッドに登ってきたという。彼からの情報とレセプションの天気予報を見て私たちも日帰りでのこのピークに登ることに決めた。

ヴァンサン・ピラミッドまでなら、アラニーヤからロープウェイでプンタ・インドレン(3260m)まで上がることができるので高度差約1000mの登山である。明日一日は天気が持ちそうである。8月14日

昨日はサングラスをなくしてヤキモキしたが、出発の朝、8時開店のショップで買い求めることができ、手製の『日よけ目隠し』(写真あり)は使わずに済んだ。

登山コースは特に危険な箇所も無くあるのは4000mを越える高所の辛さだけである。登るにつれて少しずつ以前の記憶がよみがえってくる。気象はときどきガスが撒くあいにくの天候、頂上からの展望は視界不十分でいい写真が撮れなかった。今回はパートナーが最高到達高度を塗り替えたことが唯一の収穫であった。



アラニーヤの家屋



登山靴を作っている老舗の用品店



ロプウェイ終点から



岩尾根の肩に建つニフティ小屋



前方の岩尾根の先に目指すピークはある



大きく左に巻いてからピークへ



4000mを越えて最後の登り



Ludwigshöhe (4341m) Schwarthorn (4322m)

